



岡山県還暦軟式野球連盟

令和7年度 総会

日 時 令和7年3月15日（土） 9:30~12:00

会 場 倉敷市運動公園野球場2F研修室

議 事 録

1 開会

2 出席者の確認 全チーム出席

岡山 DaDa クラブ、城東クレスト、レッドロック山陽、高梁ベアーズ、倉敷フレンズ
備前 B・B・C、総社ピュアーズ、津山楽球会、玉野・野球人、笠岡シニアクラブ
和気スカイクラブ、レッドSOX、ブルーSOX、ブラックSOX、ホワイトSOX

3 開会の挨拶 岡山県還暦軟式野球連盟 会長 渡 良弁

今後も県還連の発展を期待します。皆様には広い視野で軟式野球の発展に貢献してください。
野球は投げる、打つ、走る、守るだけでなく、グラウンド整備、ルールを理解してください。
還暦・古希だけでなく、学童・女子チームとも交流し仲良く楽しい軟式野球をしてください。

4 協議事項

(1) 令和6年度事業報告・決算報告（案）について （事務局・監査役員）

・決算報告書を説明し、小田監査役より内容確認報告を拍手にて承認を頂きました。

(2) 令和7年度事業計画・収支予算（案）について （事務局）

・収支予算書を説明し、拍手にて承認。

(3) 役員を選任（案）について （事務局）

・資料、名簿を説明し、拍手にて承認。

(4) 今後の県大会予選会の運営方法（案）について （野上競技部長）

【多数決で決定】令和8年度以降実施

ア 春の大会（選手権、選抜、中四国）、秋の大会（西日本）でそれぞれの代表を決定する。

イ 会場は総社球場他、（ピュアーズグラウンド、山手球場）+（岡山地区、倉敷地区）で実施する。

ウ 会場の確保は総社地区を主にして岡山地区、倉敷地区でも確保できるように努力する

【協議内容】

- ・従来通り春、秋の大会で代表を決める方式を希望する。
- ・春季大会で全ての代表を決める。（出場重複チームがなくなり、出場可能チームが増える）
- ・春季大会で全てを決めると以降の練習意欲が少なくなりチーム内が活性化しなくなる。
- ・秋の大会は会長杯（トーナメント）を実施しチームの練習意欲向上につなげる。
- ・総社多目的グラウンドと山手グラウンドはサッカーゴール等の障害物が多く使いにくい。
- ・倉敷市で春秋大会の2会場 x 6日間（予備日2日間を含む）球場確保が難しい。
- ・土日曜日以外で開催出来ないか？。就業者が多いため土日開催を望む。

(5) その他

令和7年度の県大会は配布資料通り、秋の大会は神崎球場に変更の可能性あり。

5 その他

(1) 執行部からの連絡事項

ア 全還連からの報告事項について（会長、氏房理事長）

・変更箇所の説明（別途資料あり）

・大会参加申込書。住所は不記載・誕生年（西暦）

・全還連主催、全日本大会開催誘致に付いて。→事務局に一任

【後日決定しました。2028年全日本古希】

・全日本3大会以外の試合は時間制限（原則110分）但し5回終了まで行い試合成立。

・ユニホームのスタイルはショート、ロング、ストレートまで自由とする。

・試合進行上の異議申し立ては、必ずそのチームの監督又は当事者の1名に限る。

・試合中、内野手間の転送球はイニング開始の一回りとする。（一、二死後の転送球は不可）

イ 令和7年度全還連登録について（還暦11チーム・古希4チーム）（総務部宮城）

・2024年12月16日に完了しました。

ウ 中・四国古希軟式野球大会の進捗状況について（統括責任者 佐藤）

・HP内に資料をアップしています。

・大会冊子用の挨拶文の依頼等は4月中旬に実施。表紙、作成部数を今後決定。

・【氏房理事長より】佐藤大会責任者へ依頼。各担当者へ連絡調整をお願いします。

エ 交流戦について（競技部 黒川）

・女子チームとの交流戦を4月と5月に古希チームと行います。

オ 審判部について（審判部 佐藤）

・3月9日の審判講習会参加いただきありがとうございました。

・塁審のカバーはクロック方式（上から見て右回り）とします。講習会時実践した。

（主審が3塁をカバーしたら1塁審は本塁のカバー。）チーム内で周知願います。

カ 学童交流試合について（当番チーム）玉野・野球人：野上さん

・玉野地区で準備中、開催は学童が夏休み期間中で調整中。決定後連絡します。

キ 委員の一部変更について（氏房）

・総務部新任に早川達雄氏、佐藤潔氏が加わりました。拍手にて承認。

ク その他

・中四国古希大会の審判位置は審判部で今後協議し決定します。

6 次回役員会開催日 令和7年 月 日（土）未定です決定後連絡します

7 閉会の挨拶 岡山県還暦軟式野球連盟 副会長 藤岡 坦弘